

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2770301162		
法人名	株式会社 エフ・エム・シー介護サービス		
事業所名	FMCグループホーム(5階)		
所在地	大阪府寝屋川市本町16番5号		
自己評価作成日	平成26年2月26日	評価結果市町村受理日	平成26年4月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪市中央区常盤町2-1-8 MIRO谷町 4階		
訪問調査日	平成26年4月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「すべての認知症高齢者に対し尊敬の意を持ち、受け入れる事」が介護支援の根本と考えており、介護スタッフにおいては「生き生きと元気に楽しい共同生活」及び「さりげなく優しく、さりげなく見守る」といった、認知症高齢者主体の介護を行うべく日々努力を重ねております。事業にあたっては、「笑顔で心穏やかに。時には思いを打ち明け一緒に涙できる環境づくり」を目指し、地域住民との関係性の向上、並びに地域内連携を綿密に図りながら行政との連携に努めております。また、26年度より始動いたします「鍵預かり事業」に賛同し、地域の一員として、地域の高齢者の方々の方に力に成るべく努めております。散歩しながら地域の方に「こんにちは」と声をかけていただき、「また明日」と手を振り挨拶ができる。そんな地域に根差したグループホームが私たちのホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)	

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1階玄関・事務所や5階の寮母室内等、職員だけでなく、来訪される方々の目の付く場所に掲げている為、職員間だけでなく、来訪される方々にも認識して頂けていると思います。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の方が主催されている様々な催し物に参加させて頂いているおかげで、散歩時に会った際などに、挨拶を交わして下さるなど、関係は良好だと感じています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	『介護何でも相談室』の看板を掲げ、いつでも相談を受け入れる事が出来る様にしている。26年度からは、鍵預かり事業も始動されるため、地域の方々に活かす機会がふえるのではと思われます。		
4	(3)	○運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて話し合い、頂いた意見を活かす様、心掛けるとともに、様々なイベントに参加させて頂くだけでなく、協力して頂き、施設内にてイベントを行う等、サービスの向上を図っている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	緊急措置の方を受け入れる等の取り組みを行い、施設として、密に連絡をとり、より良い関係を築く様心掛けています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホームが車通りの多い立地にある等の理由から、利用者様の安全を考慮し、玄関の扉等を施錠しています。 硬膜下血腫の術後で、尿閉の為、バルーンカテーテルを留置している方に関しましては、様々なリスクを避けるために、一時的に、車椅子を使用する等の拘束を行っていましたが、現在は、拘束を行わないケアに取り組んでいます。 身体拘束についての勉強会を行い、身体拘束廃止委員会も始動している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内で虐待防止の勉強会を実施するなどして、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人の手続き中の方がおられる為、今後、勉強会等の機会を持ち、皆で周知していく予定です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様・家人様に十分な説明を行うよう心掛け、疑問点を尋ね、理解を頂く様心掛けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱をフロア入口に設置しています。運営推進会議を開催時には、利用者様・家人様にも参加して頂くようにしており、出された意見や要望を反映できるように努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃より意見の出しやすい環境が築かれていると思います。フロア会議・リーダー会議等を月1回程度、設けており、意見や提案を聞く機会をもち、意見を反映できるよう努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時に希望休を考慮して作成し、出来る限り、個々の希望に沿った出勤形態に出来る様努めており、意見の出しやすいような環境作りをしている。それぞれの実績や能力を考慮し、対応している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望者には、外部の研修を受ける機会を設け、内部でも月1回の勉強会を行う様にしている。未経験の方でも安心して働いて頂けるよう、入職時には、職員がついて、仕事を教える等の対応を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の研修に参加することで、同業者との交流を図る機会を設けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学时・入居時に、しっかり話を傾聴し、コミュニケーションを図る事で、不安なことや、要望を聞かせて頂き、焦らず、寄り添うようにして、信頼関係を築くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の話を傾聴させて頂き、グループホームとして可能な限り、家族様の想いをくみ取る事が出来る様な関係作りを心掛け、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームとして、可能な限りの対応をさせて頂き、本人様や家族様より、ご要望があれば、整骨院や歯科等の受診の対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のADLを考慮しながら、それぞれの方にあつた、役割を持っていただくなどし、共に生活をしている者同士の関係を築いて頂くようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方が面会に来られた際には、本人様の現在の状況を伝え、その際にご家族様のご要望も聴かせて頂く等し、ご要望に応える事が出来る様努め、ご家族様と共に、本人様を支援できるような関係を築ける様、日々努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様と馴染みのある美容室の方に相談し、ホームでのカットを継続して頂く等し、関係が途切れない様、支援を行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	本人様同士の相性や、ADL等を踏まえて、食事や、レクリエーション時の席などの配慮をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて、ご要望があれば対応していこうと思っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	健康面や、安全面等に配慮しながら、出来る限り希望にそった生活を送って頂けるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様や、ご家族様より、情報を収集するなどして、生活歴や、入居以前のサービスの利用などを把握するよう、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の援助の中から入居者様一人一人の現在の様々な状態を把握し、カンファレンスにて、職員間で情報を共有するよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスやモニタリング等を実施することで、現状を確認し、家族様の意向や、職員の意見を踏まえて作成するようにしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌や申し送り用紙、個人記録を作成、記入することで、情報を共有し、介護計画の見直しができるように活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われなない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	整骨院や、訪問歯科、訪問カット、ZIP体操を利用するなど、本人様や家人様の希望に合わせて対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会のイベントや地域の催し物に参加させて頂いたり、近くの神社や公園へ散歩に行くなどしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に1度、水曜日に提携しているかかりつけ医に往診して頂いています。 歯科医も週1度、土曜日に往診して頂いており、本人様の状態や、家人様の意向に沿って受けて頂く様にしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、週に2度看護師が勤務しておられる為、勤務時に日常の様子を伝え対応して頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	提携している病院がいくつかあり、その中より、入居者様が掛かりつけたことのある病院を把握し、入院時には、退院する際に看護サマリーを頂くなどして、病院の方とより良い関係を築けるよう、努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアについては、「看取り契約書」を作成し、締結するようしており、本人様・ご家族様の意向を踏まえて、チームケアを実践するよう取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルの確認は、会議の際等に、定期的実施しています。 外部での研修や内部での勉強会も予定しており、実践力を付けることが出来る様、努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急マニュアルを作成しており、定期的に会議などで、確認するようしています。 運営推進会議で地域の方とも話し合いを行い、地域の方との連携を図る事が出来る様、消防訓練にも参加して頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	心得・理念でも、「尊敬の意を持ち続ける」ことを掲げており、1人1人の人格を尊重して、丁寧な言葉かけを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションの参加、入浴、散歩等、様々な部分で、本人様の体調や意思・希望を尊重して支援を行うようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合で左右せず、その方の体調や心身の状態に合わせ、その方のペースに沿った対応が出来る様に心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に、訪問カットや馴染みの美容師を利用するなどして、身だしなみを整えて頂いています。 入浴時、外出時には、ご本人様の意向にて洋服を決めて頂く様にしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理員の方がおられる為、食事の準備は行っていませんが、食事のあと片付けは、手伝って頂いており、日曜日や、行事の際には、手作りおやつをして楽しんで頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は記録に残し対応しています。 一人一人の状態に合わせ、ミキサー対応・刻み対応・粥対応・おにぎり対応にする等しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	拒否がみられる方もおられる為、全員の口腔ケアを毎食実施することは出来ませんが、出来る限り口腔ケアを行うよう努めています。 その方に合わせて、スポンジや口腔ガーゼを使用するなどして対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々排泄記録を記録しており、その方の状況に沿って排泄支援を実施しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、飲むヨーグルトや牛乳を提供しており、便秘傾向の方には、おやつ時にもヨーグルトを提供する事や、運動を促したり、個々に、内服薬を処方して頂く等の対応をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人様の体調や、心身状態を考慮し、希望に応じた入浴をして頂けるよう努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠時間も出来る限り本人様に合わせ、寝つきの悪い方には、ホットミルクを提供するなどの対応もしています。 起床時間も、本人様の状況に合わせています。 日中も本人様の体調や希望に沿って、お昼寝をして頂く様にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の重要性・服薬ミスの怖さを認識した上で、支援にあたっており、服薬時には、記録表にサインをする様にしています。 内服薬等の内容等については、医師・薬剤師・看護師より説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌がお好きな方には、カラオケをして頂いたり、書道レクを行うなど楽しみや張り合いを持った日々を過ごして頂ける様支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	1月には、初詣に神社へ、春には、花見や遊園地のバラ園に行く等、様々な企画をしています。 近くのスーパーに買い物に行くなどの支援も行っています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭を理解できなくなっておられる方もおられますが、一緒に買い物に出掛けた際に、支払いをして頂く等の支援も行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望時には、家人様に電話をして頂いたり、字の書ける方には、暑中見舞いや、年賀状を書いて頂く等の支援を行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに、利用者様の作品や写真を飾るなどしている。 ベランダにてベランダ園芸を行っており、季節の花や野菜を栽培している。 クリスマスにはツリーを飾ったり、七夕の時期には笹を飾るなどして、季節を味わって頂ける様対応している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにソファや、カーペットを敷くなどし、リラックスして共に過ごせるような空間づくりをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前に使用していた家具や、床で過ごせるようラグや畳を使用するなどの対応をしている。 本人様や家人様の写真等を飾るなどし、ご自身の部屋であることを認識して頂き、居心地良く過ごせるよう配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレには大きな文字で表示をしたり、各個人様の居室にも、表札や、名札を貼るなどしている。		